

平成 29 年度 高大連携フューチャーセッション

平成 30 年 2 月 24 日(土)、福知山市市民交流プラザを会場に高大連携フューチャーセッション「地域(まち)づくりは誰のためか?何のためか?~マルチセクターから考える~」が開催され、本校 2 年生の高山廉くん、中西桜さんの 2 名が参加しました。日星高校、東舞鶴高校、大江高校、宮津高校及び、市内の大学生など、総勢 30 名以上の学生が参加し、福知山公立大学の杉岡秀紀准教授の司会による概要説明・各グループによるアイスブレイクの後、4 人のロールモデルトークがおこなわれました。総務省職員で現在福知山市市長公室の森田賢氏、KBS 京都報道局キャスター竹内弘一氏、合同会社ミラマール代表社員(社長)の川人ゆかり氏、与謝野町長山添藤真氏の 4 名がそれぞれの視点から、地域(まち)づくりに関する示唆に富んだお話をされました。その後、4 名のロールモデルの方々とワークショップを行い、最後に今回の提言として、「私たちが地域のために明日から出来る事」を各グループで発表し、閉会となりました。

本校の 2 名の生徒も、最初は緊張した様子でしたが、徐々に積極的に議論に加わり、自ら意見を発表しました。自分たちの暮らす与謝野町の将来について、多様な視点から考える良い機会となりました。

